

令和5年4月11日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

奥州保健所管内の教育・保育施設（園児8名、職員7名）

- (1) 4月7日(金)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、3月12日(日)から4月4日(火)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児1名(既に退院)も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位:人）

区分	園児（クラス別）							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	2(1)	0	0	0	0	0	2(1)	0	2(1)
女	0	1	2	0	0	0	3	0	3
計	2(1)	1	2	0	0	0	5(1)	0	5(1)

()内は入院患者数

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件）

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和5年4月11日	2	0	0	2
令和4年4月1日～ 令和4年4月11日	1 (86)	0 (1)	0 (37)	1 (124)
令和3年4月1日～ 令和3年4月11日	2 (53)	0 (0)	0 (3)	2 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 木村・佐々木 019-629-6091】

令和5年4月18日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

奥州保健所管内の教育・保育施設（園児117名、職員34名）

- (1) 4月13日(木)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、4月10日(月)から4月17日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位：人）

区分	園児（クラス別）							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	1	2	0	0	0	6	0	6
女	4	1	1	1	0	2	9	0	9
計	7	2	3	1	0	2	15	0	15

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和5年4月18日	3	0	0	3
令和4年4月1日～ 令和4年4月18日	1 (86)	0 (1)	1 (37)	2 (124)
令和3年4月1日～ 令和3年4月18日	6 (53)	0 (0)	0 (3)	6 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 木村・佐々木 019-629-5417】

令和5年4月25日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

奥州保健所管内の教育・保育施設（園児85名、職員30名）

- (1) 4月24日(月)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、4月21日(金)から4月24日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位：人）

区分	園児（クラス別）							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	5	0	1	0	3	10	0	10
女	0	2	2	1	0	1	6	1	7
計	1	7	2	2	0	4	16	1	17

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件）

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和5年4月25日	6	0	0	6
令和4年4月1日～ 令和4年4月25日	2 (86)	0 (1)	2 (37)	4 (124)
令和3年4月1日～ 令和3年4月25日	6 (53)	0 (0)	0 (3)	6 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和5年5月1日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、アストロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

一関保健所管内の教育・保育施設（園児72名、職員26名）

- (1) 4月25日(火)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢、発熱等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、4月7日(金)から4月28日(金)にかけて、園児に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位：人）

区分	園児（クラス別）							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	6	0	2	4	1	14	0	14
女	2	1	2	4	2	3	14	0	14
計	3	7	2	6	6	4	28	0	28

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からアストロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件）

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和5年5月1日	6	0	1	7
令和4年4月1日～ 令和4年5月1日	2 (86)	0 (1)	3 (37)	5 (124)
令和3年4月1日～ 令和3年5月1日	7 (53)	0 (0)	0 (3)	7 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和5年5月9日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

奥州保健所管内の教育・保育施設(園児54名、職員28名)

- (1) 5月2日(火)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、4月24日(月)から5月2日(火)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	1	3	0	1	0	5	0	5
女	0	0	3	0	1	1	5	0	5
計	0	1	6	0	2	1	10	0	10

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和5年5月9日	8	0	1	9
令和4年4月1日～ 令和4年5月9日	2 (86)	0 (1)	5 (37)	7 (124)
令和3年4月1日～ 令和3年5月9日	7 (53)	0 (0)	0 (3)	7 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和5年10月6日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

久慈保健所管内の教育・保育施設(園児48名、職員18名)

- (1) 10月5日(木)に、当該施設から久慈保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、久慈保健所が調査を開始し、9月28日(木)から10月4日(水)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児1名も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	1(1)	2	1	3	1	9	0	9
女	3	1	3	0	4	1	12	1	13
計	4	2	5	1	7	2	21	1	22

()内は入院患者数

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者11名からノロウイルスを検出。
- (2) 久慈保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 久慈保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和5年10月10日	9	0	8	17
令和4年4月1日～ 令和4年10月10日	7 (86)	0 (1)	22 (37)	29 (124)
令和3年4月1日～ 令和3年10月10日	13 (53)	0 (0)	1 (3)	14 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和5年11月9日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

宮古保健所管内の教育・保育施設(園児104名、職員47名)

- (1) 11月2日(木)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、10月23日(月)から11月7日(火)にかけて、園児、職員に発熱、嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	2	6	3	6	2	3	22	0	22
女	0	7	3	3	5	2	20	2	22
計	2	13	6	9	7	5	42	2	44

2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者8名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和5年11月9日	10	0	9	19
令和4年4月1日～ 令和4年11月9日	7 (86)	0 (1)	22 (37)	29 (124)
令和3年4月1日～ 令和3年11月9日	14 (53)	0 (0)	1 (3)	15 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和5年12月4日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

大船渡保健所管内の教育・保育施設(園児85名、職員21名)

- (1) 12月1日(金)に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、11月26日(日)から12月2日(土)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	2	4	2	1	4	14	0	14
女	2	1	6	1	0	1	11	3	14
計	3	3	10	3	1	5	25	3	28

2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。
- (2) 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 大船渡保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和5年12月4日	11	0	10	21
令和4年4月1日～ 令和4年12月4日	7 (86)	0 (1)	22 (37)	29 (124)
令和3年4月1日～ 令和3年12月4日	19 (53)	0 (0)	1 (3)	20 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和5年12月13日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

大船渡保健所管内の教育・保育施設(園児123名、職員30名)

- (1) 12月11日(月)に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、12月5日(火)から12月12日(火)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	1	3	1	0	6	14	0	14
女	4	1	0	2	2	1	10	3	13
計	7	2	3	3	2	7	24	3	27

2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。
- (2) 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 大船渡保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和5年12月13日	12	0	10	22
令和4年4月1日～ 令和4年12月13日	9 (86)	0 (1)	22 (37)	31 (124)
令和3年4月1日～ 令和3年12月13日	21 (53)	0 (0)	1 (3)	22 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 奥州保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児120名、職員29名

(2)有症者の状況等

- ア 12月14日(木)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、12月11日(月)から12月15日(金)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	5	0	0	1	1	0	7	0	7
女	3	0	0	0	1	0	4	0	4
計	8	0	0	1	2	0	11	0	11

(3)調査結果について

- ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 宮古保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児47名、職員14名

(2)有症者の状況等

- ア 12月13日(水)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、12月12日(火)から12月14日(木)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)					職員	合計
	0~2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	1	1	1	6	0	6
女	5	0	0	0	5	0	5
計	8	1	1	1	11	0	11

(3)調査結果について

- ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和5年12月15日	14	0	10	24
令和4年4月1日～ 令和4年12月15日	10 (86)	0 (1)	23 (37)	33 (124)
令和3年4月1日～ 令和3年12月15日	24 (53)	0 (0)	1 (3)	25 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びサポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 中部保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児32名、職員16名

(2)有症者の状況等

- ア 1月12日(金)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、1月5日(金)から1月14日(日)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	3	1	1	1	2	8	0	8
女	2	0	1	3	0	0	6	0	6
計	2	3	2	4	1	2	14	0	14

(3)調査結果について

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 宮古保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児40名、職員14名

(2)有症者の状況等

- ア 1月12日(金)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、1月5日(金)から1月15日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)				職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	計		
男	2	4	6	12	0	12
女	2	4	4	10	1	11
計	4	8	10	22	1	23

(3)調査結果について

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者7名からサポウイルスを検出。
- イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

裏面につづきます

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年1月16日	15	0	14	29
令和4年4月1日～ 令和5年1月16日	18 (86)	0 (1)	25 (37)	43 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年1月16日	31 (53)	0 (0)	1 (3)	32 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 大船渡保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児115名、職員29名

(2)有症者の状況等

- ア 1月15日(月)に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、1月11日(木)から1月15日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	2	0	0	2	3	7	0	7
女	0	0	0	2	2	3	7	0	7
計	0	2	0	2	4	6	14	0	14

(3)調査結果について

- ア 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- イ 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 大船渡保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 大船渡保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児127名、職員29名

(2)有症者の状況等

- ア 1月15日(月)に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、1月11日(水)から1月15日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	2	0	3	12	2	3	22	0	22
女	2	2	2	6	7	8	27	5	32
計	4	2	5	18	9	11	49	5	54

(3)調査結果について

- ア 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者8名からノロウイルスを検出。
- イ 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 大船渡保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

裏面につづきます

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年1月17日	17	0	14	31
令和4年4月1日～ 令和5年1月17日	18 (86)	0 (1)	25 (37)	43 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年1月17日	32 (53)	0 (0)	1 (3)	33 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和6年1月18日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

宮古保健所管内の教育・保育施設(園児104名、職員47名)

- (1) 1月11日(木)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、1月9日(火)から1月17日(水)にかけて、園児及び職員に発熱、嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	1	0	1	0	1	3	0	3
女	1	4	0	0	0	0	5	3	8
計	1	5	0	1	0	1	8	3	11

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年1月18日	18	0	14	32
令和4年4月1日～ 令和5年1月18日	18 (86)	0 (1)	25 (37)	43 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年1月18日	32 (53)	0 (0)	1 (3)	33 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 中部保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児92名、職員27名

(2)有症者の状況等

- ア 1月17日(水)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、1月11日(木)から1月18日(木)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位：人）

区分	園児（クラス別）							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	0	2	1	3	6	12	0	12
女	0	4	0	0	3	2	9	1	10
計	0	4	2	1	6	8	21	1	22

(3)調査結果について

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 県央保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児109名、職員22名

(2)有症者の状況等

- ア 1月15日(月)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月9日(火)から1月15日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位：人）

区分	園児（クラス別）							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	6	1	1	0	0	0	8	0	8
女	2	2	1	1	0	0	6	2	8
計	8	3	2	1	0	0	14	2	16

(3)調査結果について

- ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

裏面につづきます

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年1月19日	20	0	15	35
令和4年4月1日～ 令和5年1月19日	20 (86)	0 (1)	25 (37)	45 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年1月19日	32 (53)	0 (0)	1 (3)	33 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 県央保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児86名、職員24名

(2)有症者の状況等

ア 1月17日(水)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月9日(火)から1月19日(金)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	6	3	3	0	0	1	13	0	13
女	0	1	0	1	1	1	4	1	5
計	6	4	3	1	1	2	17	1	18

(3)調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 県央保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児141名、職員37名

(2)有症者の状況等

ア 1月17日(水)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月15日(月)から1月19日(金)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	7	1	1	1	2	15	0	15
女	0	7	0	0	0	0	7	2	9
計	3	14	1	1	1	2	22	2	24

(3)調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

裏面につづきます

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年1月24日	22	0	16	38
令和4年4月1日～ 令和5年1月24日	25 (86)	0 (1)	25 (37)	50 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年1月24日	34 (53)	0 (0)	1 (3)	35 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びサポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 県央保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児223名、職員51名

(2)有症者の状況等

- ア 1月19日(金)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月4日(木)から1月23日(火)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	5	3	3	0	1	15	0	15
女	1	3	4	1	0	3	12	0	12
計	4	8	7	4	0	4	27	0	27

(3)調査結果について

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 一関保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児163名、職員37名

(2)有症者の状況等

- ア 1月23日(火)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢、発熱等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、1月7日(日)から1月24日(水)にかけて、園児に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	5	5	1	5	0	17	0	17
女	5	1	4	2	0	2	14	0	14
計	6	6	9	3	5	2	31	0	31

(3)調査結果について

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルス及びサポウイルスを検出。
- イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

裏面につづきます

3 宮古保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児84名、職員18名

(2)有症者の状況等

ア 1月22日(月)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、1月15日(日)から1月23日(火)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	7	1	2	3	4	20	0	20
女	0	2	2	2	2	0	8	1	9
計	3	9	3	4	5	4	28	1	29

(3)調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年1月25日	24	0	17	41
令和4年4月1日～ 令和5年1月25日	30 (86)	0 (1)	26 (37)	56 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年1月25日	34 (53)	0 (0)	1 (3)	35 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和6年1月29日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

中部保健所管内の教育・保育施設（園児48名、職員15名）

- (1) 1月25日(木)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、1月23日(火)から1月29日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位：人）

区分	園児（クラス別）							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	2	3	1	4	1	0	11	0	11
女	1	1	4	1	0	3	10	5	15
計	3	4	5	5	1	3	21	5	26

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件）

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年1月29日	26	0	17	43
令和4年4月1日～ 令和5年1月29日	33 (86)	0 (1)	26 (37)	59 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年1月29日	35 (53)	0 (0)	1 (3)	36 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 中部保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児45名、職員12名

(2)有症者の状況等

- ア 1月29日(月)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、1月18日(木)から1月29日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	2	4	1	1	3	1	12	0	12
女	3	1	0	1	0	2	7	1	8
計	5	5	1	2	3	3	19	1	20

(3)調査結果について

- ア 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 大船渡保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児120名、職員28名

(2)有症者の状況等

- ア 1月29日(月)に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、1月25日(木)から1月30日(火)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	1	3	10	2	0	17	0	17
女	0	0	1	5	3	3	12	1	13
計	1	1	4	15	5	3	29	1	30

(3)調査結果について

- ア 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- イ 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 大船渡保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

裏面につづきます

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年1月31日	28	0	19	47
令和4年4月1日～ 令和5年1月31日	37 (86)	0 (1)	26 (37)	63 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年1月31日	35 (53)	0 (0)	1 (3)	36 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和6年2月2日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

釜石保健所管内の教育・保育施設（園児65名、職員22名）

- (1) 1月31日(水)に、当該施設から釜石保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、釜石保健所が調査を開始し、1月9日(火)から2月1日(木)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児3名(既に退院)も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位:人）

区分	園児（クラス別）							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	0	2	2	4(1)	2	13	0	13
女	4	1	5	3(1)	3(1)	1	17	0	17
計	7	1	7	5	7	3	30	0	30

()内は入院患者数

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- (2) 釜石保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 釜石保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件）

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年2月2日	29	0	19	48
令和4年4月1日～ 令和5年2月2日	42 (86)	0 (1)	28 (37)	70 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年2月2日	36 (53)	0 (0)	1 (3)	37 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和6年2月5日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

中部保健所管内の教育・保育施設(園児81名、職員23名)

- (1) 2月1日(木)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、1月29日(月)から2月2日(金)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	5	2	1	0	2	10	0	10
女	0	2	1	1	2	1	7	0	7
計	0	7	3	2	2	3	17	0	17

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者1名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年2月5日	30	0	21	51
令和4年4月1日～ 令和5年2月5日	45 (86)	0 (1)	29 (37)	74 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年2月5日	38 (53)	0 (0)	1 (3)	39 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 県央保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児95名、職員18名

(2)有症者の状況等

ア 2月2日(金)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月26日(金)から2月5日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	0	0	1	1	1	6	0	6
女	2	1	0	0	2	1	6	2	8
計	5	1	0	1	3	2	12	2	14

(3)調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者9名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 釜石保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児78名、職員22名

(2)有症者の状況等

ア 2月5日(月)に、当該施設から釜石保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、釜石保健所が調査を開始し、2月1日(木)から2月6日(火)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	5	1	1	1	2	2	12	0	12
女	2	0	0	2	0	0	4	1	5
計	7	1	1	3	2	2	16	1	17

(3)調査結果について

ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。

イ 釜石保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 釜石保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

裏面につづきます

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年2月7日	32	0	21	53
令和4年4月1日～ 令和5年2月7日	50 (86)	0 (1)	31 (37)	81 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年2月7日	40 (53)	0 (0)	1 (3)	41 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 県央保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児55名、職員20名

(2)有症者の状況等

- ア 2月6日(火)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月31日(水)から2月7日(水)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	0	0	4	0	2	9	0	9
女	1	0	0	1	1	0	3	1	4
計	4	0	0	5	1	2	12	1	13

(3)調査結果について

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 釜石保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児68名、職員21名

(2)有症者の状況等

- ア 2月6日(火)に、当該施設から釜石保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、釜石保健所が調査を開始し、1月31日(水)から2月6日(火)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	0	3	0	6	2	14	0	14
女	3	0	0	1	0	1	5	2	7
計	6	0	3	1	6	3	19	2	21

(3)調査結果について

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- イ 釜石保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 釜石保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

裏面につづきます

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年2月13日	34	0	26	60
令和4年4月1日～ 令和5年2月13日	56 (86)	0 (1)	33 (37)	89 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年2月13日	42 (53)	0 (0)	1 (3)	43 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和6年2月14日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

県央保健所管内の教育・保育施設（園児87名、職員24名）

- (1) 2月8日(木)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月31日(水)から2月12日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位：人）

区分	園児（クラス別）							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	4	3	3	2	0	13	0	13
女	0	3	3	0	3	4	13	2	15
計	1	7	6	3	5	4	26	2	28

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件）

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年2月14日	35	0	26	61
令和4年4月1日～ 令和5年2月14日	58 (86)	0 (1)	33 (37)	91 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年2月14日	42 (53)	0 (0)	1 (3)	43 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和6年2月19日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

二戸保健所管内の教育・保育施設(園児106名、職員24名)

- (1) 2月15日(木)に、当該施設から二戸保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、二戸保健所が調査を開始し、2月13日(火)から2月15日(木)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	7	1	0	2	0	1	11	0	11
女	2	2	0	1	0	0	5	0	5
計	9	3	0	3	0	1	16	0	16

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- (2) 二戸保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 二戸保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年2月19日	36	0	31	67
令和4年4月1日～ 令和5年2月19日	62 (86)	0 (1)	35 (37)	97 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年2月19日	43 (53)	0 (0)	2 (3)	45 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和6年2月20日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

奥州保健所管内の教育・保育施設(園児151名、職員30名)

- (1) 2月19日(月)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、2月15日(木)から2月19日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	1	0	14	1	1	17	0	17
女	0	0	1	11	9	5	26	2	28
計	0	1	1	25	10	6	43	2	45

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年2月20日	37	0	31	68
令和4年4月1日～ 令和5年2月20日	64 (86)	0 (1)	35 (37)	99 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年2月20日	43 (53)	0 (0)	2 (3)	45 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和6年2月21日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びサポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

宮古保健所管内の教育・保育施設(園児104名、職員47名)

- (1) 2月15日(木)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、2月10日(土)から2月20日(火)にかけて、園児に発熱、嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	1	1	5	0	4	12	0	12
女	0	1	0	2	0	1	4	0	4
計	1	2	1	7	0	5	16	0	16

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルス及びサポウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年2月21日	37	0	32	69
令和4年4月1日～ 令和5年2月21日	66 (86)	0 (1)	35 (37)	101 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年2月21日	43 (53)	0 (0)	2 (3)	45 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 一関保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児87名、職員25名

(2)有症者の状況等

- ア 2月22日(木)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢、発熱等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、2月12日(月)から2月25日(日)にかけて、園児に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	園児(クラス別)						職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4・5歳児	計		
男	3	0	1	0	3	7	0	7
女	6	1	2	2	3	14	0	14
計	9	1	3	2	6	21	0	21

(3)調査結果について

- ア 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 一関保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児62名、職員22名

(2)有症者の状況等

- ア 2月26日(月)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、2月14日(水)から2月26日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	0	4	1	1	1	7	0	7
女	4	1	3	0	0	1	9	1	10
計	4	1	7	1	1	2	16	1	17

(3)調査結果について

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

裏面につづきます

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年2月28日	39	0	34	73
令和4年4月1日～ 令和5年2月28日	69 (86)	1 (1)	35 (37)	105 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年2月28日	45 (53)	0 (0)	2 (3)	47 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

令和6年3月19日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

奥州保健所管内の高齢者施設(利用者110名、職員24名)

- (1) 3月15日(金)に、当該施設及び関連施設から奥州保健所へ、複数名の利用者及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、3月8日(金)から3月13日(水)にかけて、利用者及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分						職員	合計
	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	計		
男	1	0	0	0	1	1	2
女	0	1	7	5	13	2	15
計	1	1	7	5	14	3	17

2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和5年4月1日～ 令和6年3月19日	41	0	38	79
令和4年4月1日～ 令和5年3月20日	81 (86)	1 (1)	36 (37)	118 (124)
令和3年4月1日～ 令和4年3月20日	51 (53)	0 (0)	2 (3)	53 (56)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 佐々木・吉成 019-629-5417】

